



あいことば 上宇部 2025

～ 「あい」「ことば」を大切にする学校 ～

05.20 NO-16

授業支援（3年生の習字）＝地域学校協働活動

小学校では、基本的に学級担任がすべての教科等の学習を教えます。国語、社会、算数、理科、生活、音楽、図画工作、家庭、体育、外国語、道徳、外国語活動、総合的な学習、すべてを子どもたちに教えることになります。

本校では、3、4、5、6年の理科と音楽、5、6年の外国語で、専科の教員を配置し、担任ではない教員が授業を行っています。

担任の先生ではない先生と学ぶことは、子どもたちに多くの大人が関わることになり、複数の視点で子どもをサポートすることができるだけでなく、さまざまな価値観をもった大人との関わりを実現することで、生きる力を育む一助となっています。

そんな中、3年生の国語（習字の時間）では、さらに多くの大人との関わりを実現しています。宇部、山陽小野田等で、習字の先生をされている11名の習字の先生方が、なんと講師として習字の授業をサポートしてくださいました。2クラスずつ授業を実施したので、1クラスあたり5、6名の先生がおられたこととなります。



授業前には、授業中に気を付ける点や、今日の授業の目的・やるべきことをしっかり確認されていました（上左写真）。

今回支援をしてくださった皆様（右写真）は、社会教育活動として、ご自身のスキルを活用したり、磨きをかけたりしている方です。その方が学校と連携して活動されることは、まさに地域学校協働活動です。

皆様のおかげで本日の3年生の学びがより充実したことは言うまでもありません。

